

復興加速化と経済再生へ

政府予算要望

福島県議会議会商労働文教委員会は8月3日、経済産業省、観光庁、文部科学省に対して二〇二四年度当初予算編成にかかわる要望活動を行いました。

商労働文教委員会の委員長のと副委員長の二名が委員会を代表して永田町と霞が関を訪れ、政府予算要望活動を行いました。

当日は、本県選出国會議員の議員会館事務所を訪れ、その後福島



左から渡辺副委員長、私(佐藤)、築副大臣、亀岡衆院議員

1区選出の亀岡偉民衆議院議員とともに経済産業省、観光庁、文部科学省に向かいました。経済産業省では、中

谷真一副大臣に対して、原発の廃炉関連産業の育成と集積、福島ロボットのテストフィールドの運営支援、カーボニユートラルの実現に向けたエネルギー・環境・リサイクル関連産業の集積、福島県大内に整備した医療・産業トラン

人口・消費の拡大及び生活環境の整備促進、ALPS処理水の処分に係る風評対策、観光コンテンツ造成や観光キャンペーンなど誘客促進に必要な予算の確保、教育旅行回復への支援などについて要望して参りました。



8月1日、藤田建設工業(株)が白河市で行っている早世樹(コウヨウザ)の植樹現場と塙町で木材加工を行っている協和木材(株)を訪れ、調査活動を実施しました。

森林・林業活性化議員連盟現地調査

コウヨウザは、スギやヒノキと比べて生長が早い樹種で、苗木を植えてから約20年ほどで製品として出荷できるそうです。また試験栽培を開始して3年目ということで、現在県と連携を図りながら研究を重ねています。塙町の協和木材は、国産材専門事業者として、国内第2位の年間製材量を誇り、塙町のほか山形県新庄市に工場を保有しております。こちらでは事業概要の説明を受け、工場敷地内を見学しました。



競技会のほか体験型スタンプラリーやチェーンソーアートショーなど、楽しめるプログラムが満載です。今年10月21日に開催されますので、ぜひ会場に足をお運びください。



第48回福島県林業祭の共催行事として、第2回ふくしま伐木チャンピオンシップ2023が開催されます。この福島県林業祭は、県民の皆さまに森林・林業・木材産業の魅力等を感じていただくことを目的として、例年秋に実施しているイベントで、昭和51年(1976)年から毎年県林業研究センター(旧林業試験場)を中心に開催しています。

日常の活動報告

城西夏まつり

8月5日、毎年恒例の城西夏まつりが西若松駅東口広場で開催されました。主催者の西若松駅を愛する会は、会員が西若松駅の事業活動を積極的に推進すると共に、地域の活性化及び防犯・環境美化に協力しており、西若松駅の振興に寄与している団体です。

天候にも恵まれ、多くの家族連れで賑わっていました。

第55回全会津商工観光推進大会

8月9日、三島町交流センター山びこを会場に、全会津の商工観光団体が一堂に会し、会津地方の観光振興についての要項事項が決議されました。後日、県および国に對して要望活動が行われます。

政議会

8月18日、9月定例会に向けた政議会が開催されました。

今回提出される一般会計の補正予算の総額は54億1千5百万円の見込みで、その内容はALPS処理水の海洋放出により懸念される風評への対策として、本県への更なる理解を促進するための正確な情報・魅力の発信も、プツリーズムの推進、「常磐もの」を始めとする県産農林水産物の

魅力発信の強化や更なる販売促進のほか、自然災害への備えとして、河川の改良復旧による防災力の強化等に要する経費です。

中野竹子女子顕彰祭

8月20日、令和5年中野竹子女子顕彰祭に参列。

毎年この時期に神指町東城戸の殉節之地で執り行われていた顕彰祭ですが、コロナ禍で4年ぶりの開催となりました。会津若松市内の各所



には、歴史が息づく様々な史跡が数多くあります。こうした場所が遺るのは、日頃から地域住民の皆さんが大切に守っているからであり、次の時代へと引き継ぐためこれからも大事にしたいものです。

備であるかを改めて認識する内容でした。本県の復興の柱として、この分野での対策も欠かせないことを理解し、今後の政策提言に繋げて行きたいと考えています。

七日町通りまちなみ協議会総会

盛り上げて参ります。

8月31日、渋川問屋で行われた第30期総会に参加しました。30年前の七日町は、〇〇銀座といったように東京を模倣した全国どこどこでもあるような商店街で、少しずつ空き店舗が出てきた時期でもありました。そのような状況に危機感を抱いた当時の若手経営者ら数人が知恵を出し合い、行政を動かす、大正時代の面影を残す店舗を、その良さを生かしながらリノベーションを施すことで現在のような情緒あふれる街並みの景観に整備したという歴史があります。

いまでこそ、ウィークday、週末に関わらず観光客で賑わいを見せる商店街ですが、こうした長年の努力が実を結んで今に至っています。

今後も様々な事業を通して、さらなる進歩を期待しています。

今後の主な予定

- 【9月11日】県議会 9月定例会開会
- 【13日・14日】本会議（代表質問）
- 【19日・20日】本会議（一般質問）
- 【21日・22日】常任委員会
- 【25日・28日】決算審査特別委員会
- 【10月2日】総括審議会
- 【3日】常任委員会
- 【4日】最終本会議（採決・閉会）

編集後記

9月1日は、関東大震災から百年の節目を迎えた「防災の日」でした。我が家では、防災グッズをひとまとめにしたリュックがあります。時折り自身を出しては、消費期限間近の非常食を食し補充しています。

県では災害に備えて、マイ避難ノートの活用を推進していますので、ぜひご活用ください。



衆議院議員

小林史明氏 政経セミナー

8月28日、小林史明を育てる会主催の第12回政経セミナーが開かれ参加してまいりました。

小林史明氏とは、彼が自民党青年局長時代の2019年、私も当時自民党福島県連の青年局長をしていた縁で知り合い、以来いまでもこうして交流を図っています。

今回のセミナーは「AIで進化する日本の産業と社会」と題し、IoT分野での活用を中心にディープラーニングの研究・開発を行っている「プリファードネットワークス社」の最高研究者である岡野原大輔氏の講演と小林議員とのトークセッションで盛り上がりました。

自民党福島県支部 政策勉強会

8月23日、福島市にある自民党福島県連にて、東京大学先端科学技術センターの玉井克哉氏、國分俊史氏の面教授をお招きして、経済安全保障に関する講義を受けました。ICTや半導体などの先端産業分野に関して、情報戦略や輸出入の取引で如何に日本が無防

会津広域観光推進 議員連盟運営総会

8月27日、会津17市町村の議会議員で構成される観光推進議員連盟の総会に出席。

出席した真議を代表して来賓あいさつをいたしました。

アフターコロナで観光需要の増大が見込まれるなか、県もこの秋は大型キャンペーンを企画し県内の観光地を